

期待すれば子どもは伸びる（ピグマリオン効果）

アメリカの心理学者がある実験をしました。まず小学生に普通の学習能力テストをさせ、その結果を担任の教師にこのように報告しました。

「このテストは将来の学力の伸びが確実に予測できるものです。まだ研究中なので結果を知ることができませんが、先生にだけ、将来伸びる生徒の名前を教えましょう」

しかし、そこで教えられた数人の生徒は、能力テストの成績に関係なく、ランダムに選ばれた生徒でした。それから1年ほどした後で、再びテストしたところ、名前を挙げられた生徒はそうでない生徒に比べて明らかに成績が上がっていました。

このように、期待することによって、相手もその期待に応えるようになる、という現象をピグマリオン効果と呼んでいます。このような効果が起こる理由として心理学者は、人は常に相手の期待に対し最も敏感に反応するからと説明しています。

これらの結果が全てではありませんが、プライベート学習教室の本当のマンツーマン指導からもただ1つ言えることは、

子供に対して期待を持ちその後の長所を伸ばそうという温かい態度で接していれば子供も自分に合った望ましい方向に伸びていく可能性はある

ということです。

学業成績の向上にも少しずつ繋がっていきます。ただし、期待は子供の負担にならないようにほどほどが良いでしょう。